

令和元年度

放射線被ばくを理解するための シンポジウム

令和2年3月17日(火)

高知共済会館 大ホール「桜」

参加費無料

要約筆記あり
事前申込み不要

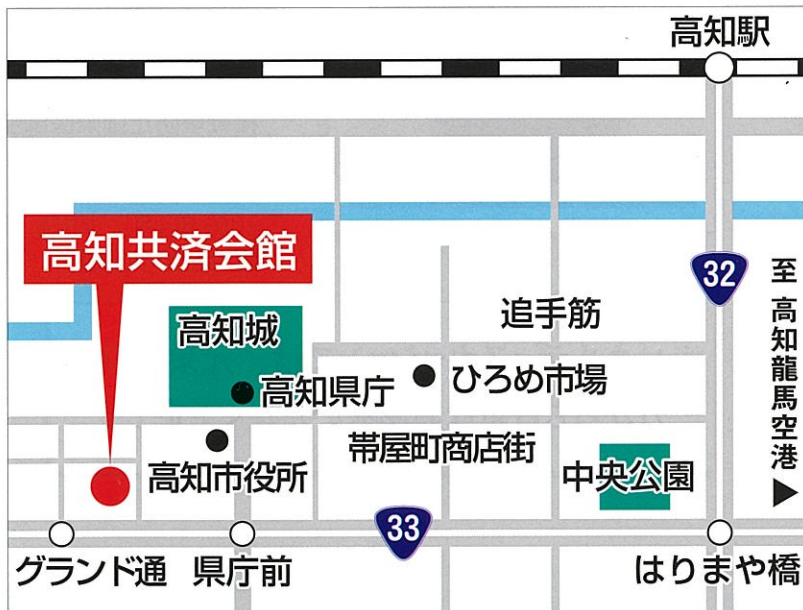


開場 12:30 開会 13:00

1946～58年にマーシャル諸島で水爆実験が行われ、1954年には第5福竜丸の乗組員が被ばくしました。同時期、周辺海域には複数の日本の漁船等が操業しており、こうした船舶の乗組員の中には、健康不安を持ちながら操業や生活を続けられた方がいらっしゃいます。こうした方の健康不安に寄り添うとともに、放射線被ばくについて理解を深めることを目的として、シンポジウムを開催します。

プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開会・開会あいさつ
- 13:05 基調講演「放射線災害医療について」
- 13:55 休憩
- 14:05 招待講演「マーシャル諸島における被ばくについて」
- 14:55 休憩
- 15:00 パネルディスカッション/質疑応答
- 15:35 閉会挨拶・閉会



お問い合わせ 高知県健康政策部健康対策課

TEL:088-823-9678 FAX 088-873-9941

〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号
130401@ken.pref.kochi.lg.jp

※会場は、駐車場の駐車台数に限りがあります。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

来場者全員に
「放射線についての
基礎知識」資料を
配布いたします

※車椅子でのご来場・盲導犬を帯同してのご参加など、会場への配慮をご希望の方は事前にお問合せください。

基調講演 『放射線災害医療について』



ひろはし のぶゆき

廣橋 伸之 先生

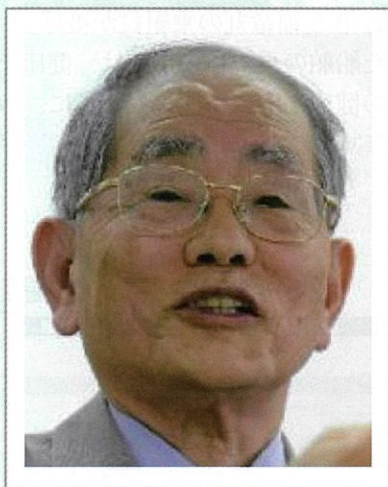
広島大学 原爆放射線医科学研究所
放射線災害医療開発研究分野 教授

—プロフィール—

- 救急科専門医・指導医
- 日本航空医療学会 認定指導者
- 日本放射線事故・災害医学会理事
- 日本救急医学会原子力災害対応特別委員会委員
- 日本DMAT隊員(統括DMAT)



招待講演 『マーシャル諸島における被ばくについて』



かまだ ななお

鎌田 七男 先生

広島大学 名誉教授

—プロフィール—

- (元)公益財団法人 広島原爆被爆者援護事業団 理事長
- 1937年生まれ 医学博士・広島大学名誉教授
- 日本放射線影響学会名誉会員・日本人類遺伝学会名誉会員
- 核戦争防止国際医師会議日本支部理事
- 中国文化賞・永井隆平和賞・日本対がん協会賞・広島市民賞
- 2001年4月より現職 著書:「広島のおばあちゃん(日本語・英語・仏語訳)」「爆心地」など

※パネルディスカッションでは、元乗組員の方からも貴重なお話をいただく予定です。

高知県健康政策部健康対策課

日本一の健康長寿県構想

県民が健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすために